

## ★ ハスモンヨトウ、ハイマダラノメイガについて

秋冬野菜は、は種、作付けの最中だと思いますが、今後、ハスモンヨトウやハイマダラノメイガ（ダイコンシンクイムシ）の発生には、十分注意してください。

普及センターやJAからの情報によると、エビイモや黒大豆等で発生が府内各地から報告されています。ハスモンヨトウは豆類、サトイモ、ナスをはじめ幅広い農作物を加害し大きな被害を及ぼしますので、今後とも、こまめにほ場を見回り、幼虫が発生しているほ場は、早期に防除することが重要です。

また、ハイマダラノメイガはアブラナ科野菜の生育初期に大きな被害を及ぼしますので、今後の発生に十分注意し、被害の拡大を防いでください。

### 1 ハスモンヨトウ

#### (1) 現在の発生状況

防除所が府内3カ所に設置しているフェロモントラップの誘殺状況は、9月第1半旬現在、京田辺市、京丹後市で平年並、亀岡市で平年比やや多くなっています。

また、9月9日に農林水産技術センターの黒大豆ほ場で、白変葉及び様々なステージの幼虫を確認しています。

#### (2) 防除上の注意事項

早期発見に努め、分散前の幼虫を取り除きましょう。齢が進んだ幼虫は分散し、かつ薬剤の効果が著しく低下するので、若齢幼虫期の防除を徹底しましょう。

### 2 ハイマダラノメイガ

#### (1) 現在の発生状況

防除所が亀岡市で試験的に設置しているフェロモントラップの1ヶ月間の誘殺数は3.4頭（前年同期間0.0頭）でした。

また、9月9日に農林水産技術センターのキャベツで6.1%、ハクサイで27.1%の被害株を確認しました。

#### (2) 防除上の注意事項

育苗中は防虫ネットや寒冷しゃなどで被覆し、成虫の飛来・産卵を防いでください。また、早期発見に努めるため新芽を中心に観察し、幼虫を発見したら、ただちに防除してください。